

佐渡市立高千小学校

令和6年度学校だより

令和6年8月28日 No.6

しおかせ

数値化できない非認知能力の存在

校長 後藤 洋子

夏休みも終わり、2学期がスタートしました。とにかく暑かった夏休みでした。終業式に伝えた「命どう宝」（ぬちどうたから）の約束を守って、2学期の始業式で18名の子どもたちに出会えたことに感謝します。2学期はいろいろな行事があります。その中で子どもたちはさらに大きく成長していきます。引き続き保護者、地域の皆様から子どもたちを温かく見守り、応援をお願いいたします。

—昨日、始業式で子どもたちに以下のようなお話をしました。

今年の夏休みは、パリでオリンピックが開催されました。バレーボールやバスケットボールなどの団体種目や卓球、バトミントン、柔道など個人、ペア、団体戦、新しい競技もありました。テレビ観戦したことと思います。また、佐渡市では、念願の佐渡市金銀山が



「世界遺産」として登録されました。1997年（平成9年）から約27年後の登録です。27歳になって叶ったということなので、すごいことですね。

「ところで皆さん、『オリンピック』と『世界遺産』どちらも共通していることがあります。何でしょうか。」の問いかけに、5名の子どもたちが、相談タイムで考えたことを発表してくれました。「同じ年」もありましたが、「あきらめない」「やり抜く」「努力する」「自分を信じる」等の考えが出てきました。これらは数値化できない能力「非認知能力」です。お茶の水女子大の浜野隆教授は「学力や知能など測定できる「認知能力」に対し、数値化できない「非認知能力」は、「両者は車の車輪で、バランス良く育てていくことが大切」と説明されています。浜野教授は非認知能力を以下のように大きく3つに分けています。



相談タイムの様子※校長講話ではおなじみの取組です。

- ① 目標を達成する力（忍耐力、自制心、好奇心、最後までやり抜く力、自己効力感等）
- ② 他者と協働する力（社会性や思いやり、共感力、協調性等）
- ③ 感情をコントロールする力（自尊心、自己肯定感、楽観性、挫折から立ち直る力等）

さて、今日から2学期がスタートです。代表の人が2学期のめあてを発表してくれました。2学期はいろいろな行事がたくさんあります。楽しみもあると思います。1つ1つの取組にめあてをもって取り組んでほしいと思います。ところで、どうしてめあてをもつことが必要なのでしょうか。めあてや目標は、自分が目指すゴールです。ゴールなしに歩き続けるのは大変です。めあてをもつとよいことは3つあります。

- ①やる気もち続けることができる。
- ②達成感をもつことができる。
- ③気持ちが前向きになる。

めあてにも教育目標「た・か・ち」にも、数値化できない「非認知能力」の存在がありませんか。2学期も、皆さんがめあてをもってめあてに向かって頑張り、成長していく姿を見守っていきます。